

S&P、エジプトの格付見通しを「安定的」と確認

スタンダード・アンド・プアーズ(S&P)は、外貨建てソブリン格付けのBB+と、自国通貨建て長期発行体格付けのBBB-を確認した。さらに、自国通貨建てと外貨建ての短期発行体格付けもそれぞれBとA-3と確認した。S&Pはエジプトの格付見通しをこれまで通り「安定的」とした。

S&Pの報告書の要点は次の通り。

エジプトに対する格付けの確認は、エジプト政府の金融および財政改革への取り組みと、国際金融危機を克服したエジプトの銀行セクターの健全性の証拠である。

この決定は、通貨政策の柔軟性を高めているエジプトの金融政策の改善を反映したものである。

エジプト経済は格付けの確認と安定性をもたらした一方、まだ課題に直面している。高水準の財政赤字と公的債務が最大の問題である。

国際金融危機のためにエジプト経済は07/08年度の7.2%から08/09年度に4.7%へ低下した。

S&Pの推計では、エジプト政府による景気刺激的な財政および金融政策にもかかわらず、インフレ率は今年6-8%の政策目標レンジにとどまる可能性が高い。

国外在住者からの送金および製造業輸出の増加に加え、観光とスエズ運河の両セクターを中心とする対外収支の継続的な回復がさらに原動力となり、エジプト経済は今年5.1%へ、向こう数年間に6%へ上昇すると見通される。

昨年の成長減速と景気刺激的な財政政策が公的財政指標に対する悪化圧力となり、2009/10年度の財政赤字はGDP比8%になると見通される。

しかし、向こう数年間に財政赤字は縮小すると予想される。

対外収支は、国際金融危機の結果、2008/09年度の経常赤字がGDP比2.4%となった。

経常赤字は特に観光と輸出により中期的に改善すると見通される。

エジプト経済への資本流入と資本収支の改善が予想される。

エジプトの外貨準備が2010年2月に340億米ドルに増加したことに加え、ここ数年に対外債務のGDP比が着実に減少している。

財政政策では、継続的な組織の改善と金融政策に対する信頼性がエジプト中央銀行の為替管理能力を向上させている。

国際金融危機がエジプトの銀行セクターに及ぼした影響は限定的であった。2004年以降にエジプト政府が行ってきた様々な施策が奏功しており、エジプト経済は世界経済の完全な回復と同時に対内直接投資(FDI)を引き付けるだろう。

■当資料の情報は信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、情報の正確性、完全性について弊社が保証するものではありません。当資料に掲載されている数値、図表は過去の実績を示したものであり、将来の運用成果および市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は投資家の皆様にエジプト市場のご理解を高めて頂くために作成した資料であり、証券取引法、投資信託及び投資法人に関する法律に基づく開示資料ではありません。また、特定ファンドの勧誘、販売を目的としたものではありません。

今後の格付けについて中期的な見通しを「安定的」とした。つまり、エジプトは世界的な需要後退に対する耐性が高い。

エジプトは公的財政指標の改善を確実にするために経済改革を継続する必要がある。

エジプトはインフレ抑制に取り組んでおり、それによって、特に柔軟な外貨管理政策が採用可能になるため外部ショックへの耐性が高まる。

結論として、エジプトが長期的に格付けを改善させるには、経済制度改革を進めることに加え財政赤字と公的債務を削減することが唯一の方法である。

(出所: スタンダード・アンド・プアーズ(S&P) 2010年3月27日)

■当資料の情報は信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、情報の正確性、完全性について弊社が保証するものではありません。当資料に掲載されている数値、図表は過去の実績を示したものであり、将来の運用成果および市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は投資家の皆様にエジプト市場のご理解を高めて頂くために作成した資料であり、証券取引法、投資信託及び投資法人に関する法律に基づく開示資料ではありません。また、特定ファンドの勧誘、販売を目的としたものではありません。